■「新型コロナウイルスのワクチン接種に係るバスの活用について」国土交通省、厚生労働省、総務省に要望の申入れを行いました

日本バス協会は、令和３年３月２５日(木)、衆議院第一議員会館において、自由民主党バス議員連盟の先生方の立会いのもと、「新型コロナウイルスのワクチン接種に係るバスの活用について」の要望書を国土交通省、厚生労働省、総務省各大臣あてに提出し、要望実現への支援の申入れを行いました。

※要望書の内容は、次ページのとおりです。

【要望内容を説明する石指理事長】

【逢沢自由民主党バス議員連盟会長】

【各省庁へ要望書を提出】

同行議員：(順不同)

逢沢　一郎　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　会長)
細田　博之　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　顧問)
塩谷　　立　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　副会長)
渡辺　博道　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　副会長)
金子　恭之　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　幹事)
西村　明宏　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　幹事)　代理
盛山　正仁　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局長)
井林　辰憲　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局次長)
武井　俊輔　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局次長)
武部　　新　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局次長)
藤丸　　敏　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局次長)
堀内　詔子　衆議院議員　(自由民主党バス議員連盟　事務局次長)

各省庁：

秡川　直也　(国土交通省　自動車局長)
大辻　　統　(国土交通省自動車局　旅客課長)
林　修一郎　(厚生労働省健康局健康課予防接種室長)
足達　雅英　(総務省　地域政策課長)

写

令和３年３月 25 日

国土交通大臣 赤 羽 一 嘉 殿

公益社団法人日本バス協会
会 長 三 澤 憲 一

新型コロナウイルスのワクチン接種に係るバス車両の活用について

日頃より、バス事業のために格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

現在、バス事業者は新型コロナウイルス感染症の影響で大変厳しい経営状況となっています。また、感染拡大の第三波による緊急事態宣言の再発令やGoToトラベル事業の一時停止等により、先の見通しが全く立たない状況です。政府におかれましては、このようなバス業界の実情をご理解いただき、雇用調整助成金の特例措置の延長、金融支援の拡充等、様々な面でご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

先般、日本においてもファイザー社製の新型コロナウイルスのワクチンが承認され、医療従事者のワクチン接種が始まっており、4月からは高齢者のワクチン接種が始まることと存じます。現在、地方自治体においてはワクチンの接種会場の確保やオペレーション等について準備が進められておりますが、地域によっては接種会場までの移動や会場の規模等で問題を抱えているところも多いと考えます。その際には、貸切バス車両の有効活用を検討していただきますようお願いいたします。

貸切バスは、利用者のニーズに応じた活用ができる、利用自由度と機能性の高いインフラであります。また、貸切バスは換気性能に優れており、感染予防対策も徹底しており、安心してご利用いただけます。このため、地方自治体においてリフト付きバスや低床バス等の車両をワクチン接種会場として活用いただけるものと考えます。この他、ワクチン接種会場への交通弱者の移動手段としての活用はもちろんのこと、スペースに余裕のない接種会場でワクチン接種前後の待合場所としての活用、駐車スペースのない会場ではパークアンドライドでのシャトルバスとしても活用いただけます。

つきましては、ワクチン接種において貸切バスの活用が促進されるよう、以下のとおり要望いたします。

記

1. ワクチン接種事務の主体となる地方自治体に対して、貸切バスは機能性が高く、優れた換気性能を含め感染予防対策を徹底しているため、ワクチン接種に際して、被接種者の輸送はもちろんのこと、接種会場等として、積極的に活用いただけるよう働きかけをお願いしたい。

2. 医療法の手続きを所管する都道府県・政令市・特別区におかれては、ワクチン接種会場として貸切バスを活用する際に、必要とされる診療所としての取り扱いを行うための手続きについて、ワクチン接種事務の主体となる地方自治体に対し、具体的にお示しいただけるように働きかけをお願いしたい。

3. ワクチン接種に係る貸切バスを運行する運転者等の乗務員についても感染予防対策が重要であり、事前のPCR検査や感染予防対策についても検討していただきたい。また、費用面も含め、ワクチン接種事務の主体となる地方自治体に特段のご配慮をいただけるように働きかけをお願いしたい。

4. ワクチンの接種会場や待合場所として活用する場合において、車両検査の面など関係法令等の柔軟な運用をお願いしたい。

5. 円滑なコロナワクチン接種に向けて、地方自治体のニーズに応じた的確なタイミングで貸切バスを活用頂けるよう、春先の遠足や修学旅行など需要の見込まれ得る他用途による利用と重ならないよう調整する必要があることから、ワクチン接種事務の主体となる地方自治体におかれては、ワクチン接種の日程を早期にお示しいただくように働きかけをお願いしたい。

以上

厚生労働大臣、総務大臣あての要望書も同内容。